

2026年3月期 中間期決算説明会

2025年11月20日

京成電鉄株式会社

- 1. 2026年3月期 中間連結決算**
2. 2026年3月期 連結業績予想
3. D2プランの進捗状況
4. 参考資料

1-1. 業績概要 [連結損益計算書]

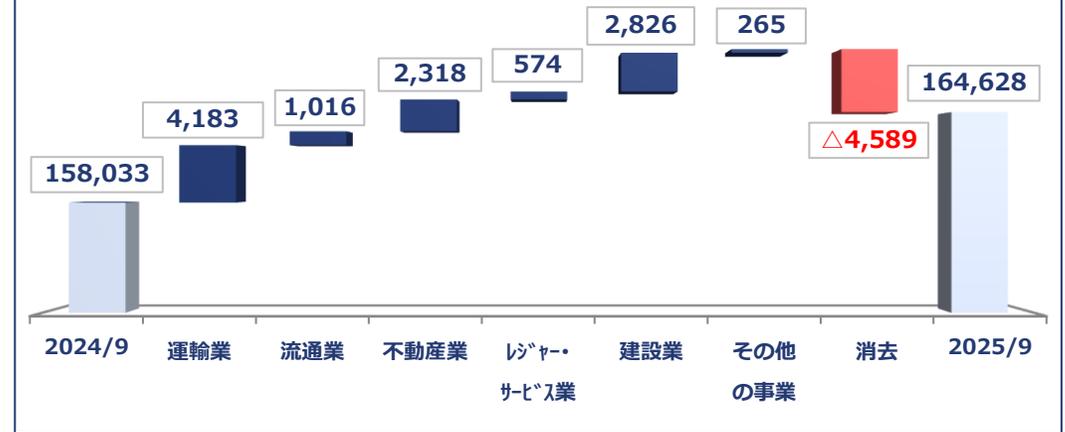
- ・ 運輸業において、インバウンド需要増大に伴い成田空港輸送が増加したものの、人件費増や事業再編による一時的な費用増により増収減益
- ・ 不動産業において、新規賃貸物件の寄与、中高層分譲住宅の引き渡し等に伴い増収増益
- ・ 持分法による投資利益の増加

■ 連結損益計算書

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率
営業収益	158,033	164,628	6,595	4.2
営業利益	22,079	20,802	△1,276	△5.8
経常利益	31,518	30,196	△1,321	△4.2
(持分法投資利益)	9,437	9,772	335	3.6
親会社株主に帰属する 中間純利益	21,496	23,723	2,227	10.4
減価償却費	15,961	16,470	509	3.2

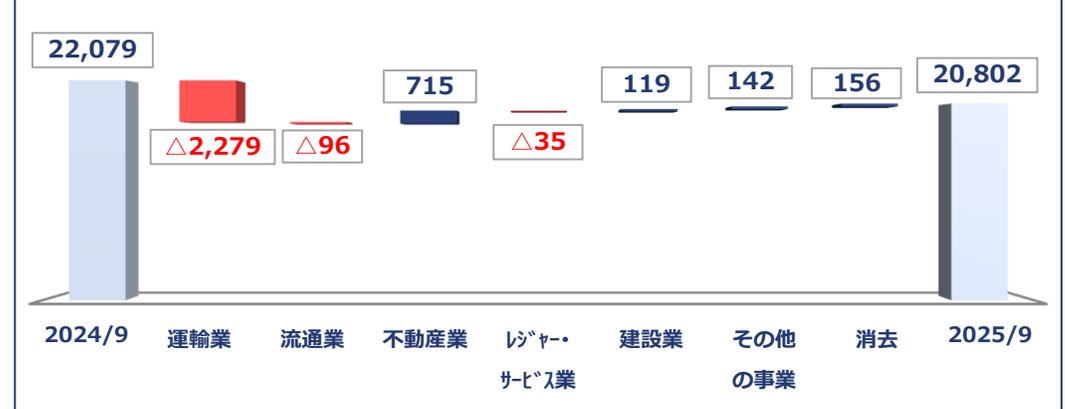
■ 営業収益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



■ 営業利益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



※事業再編に伴い、運輸業と不動産業の間で資産の一部を移管しているため、前年実績については、移管後の区分に組み替えて記載しております。

1-2. 業績概要 [連結貸借対照表]

持分法適用会社株式による投資利益の増加

■ 連結貸借対照表

単位：百万円	2025/3 実績	2025/9 実績	増減	増減要因
資産	1,094,120	1,100,954	6,833	
現金及び預金	51,529	36,833	△14,695	未払法人税等の支払等による減少
有形固定資産	704,321	708,769	4,447	
投資有価証券	236,626	255,843	19,216	持分法適用会社株式の増加
負債	569,462	550,481	△18,981	
未払法人税等	26,128	5,866	△20,262	
有利子負債 ※	363,050	389,610	26,560	
純資産	524,658	550,472	25,814	親会社株主に帰属する中間純利益の計上
自己資本比率	46.5	48.5	2.0pt	

※有利子負債にはリース債務を含む

1-3. セグメント別業績 [運輸業]

インバウンド需要増大に伴い成田空港輸送が増加したものの、人件費増や事業再編による一時的な費用増により増収減益

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	97,739	101,922	4,183	4.3	
鉄道事業	51,132	53,429	2,297	4.5	成田空港輸送の増加
バス事業	29,601	30,721	1,120	3.8	ダイヤ改正に伴う増便により増収
タクシー事業	17,006	17,771	764	4.5	車両稼働率の上昇
営業利益	14,535	12,255	△2,279	△15.7	
鉄道事業	11,178	9,688	△1,490	△13.3	人件費、事業再編に伴う費用の増加
バス事業	3,136	2,237	△899	△28.7	人件費、減価償却費の増加
タクシー事業	220	330	110	49.9	
減価償却費	12,414	12,843	429	3.5	

1-4.セグメント別業績 運輸成績 [当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率
定期	112,403	113,317	914	0.8
定期外	81,823	84,083	2,260	2.8
合計	194,226	197,400	3,174	1.6

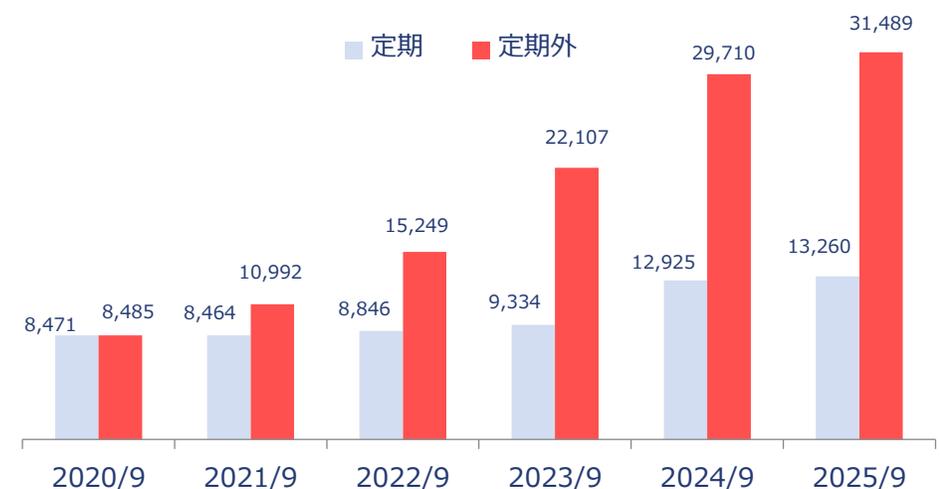
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率
定期	12,925	13,260	335	2.6
定期外	29,710	31,489	1,779	6.0
合計	42,636	44,750	2,114	5.0

単位：百万円



※2024/9実績には松戸線（旧 新京成電鉄）を含む

1-5.セグメント別業績 成田空港輸送成績 [当社単体]

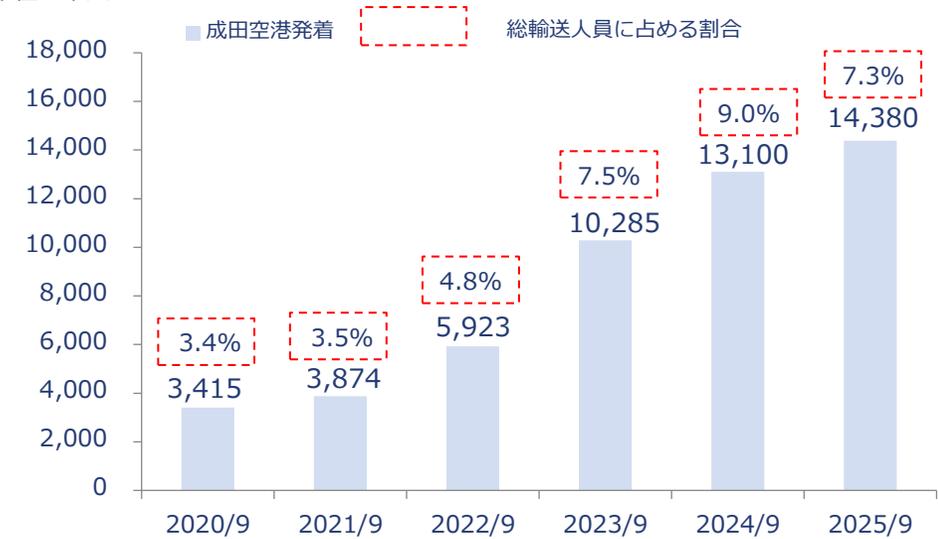
■輸送人員

単位：千人、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率
成田空港発着	13,100	14,380	1,280	9.8
有料特急	4,436	4,735	299	6.7

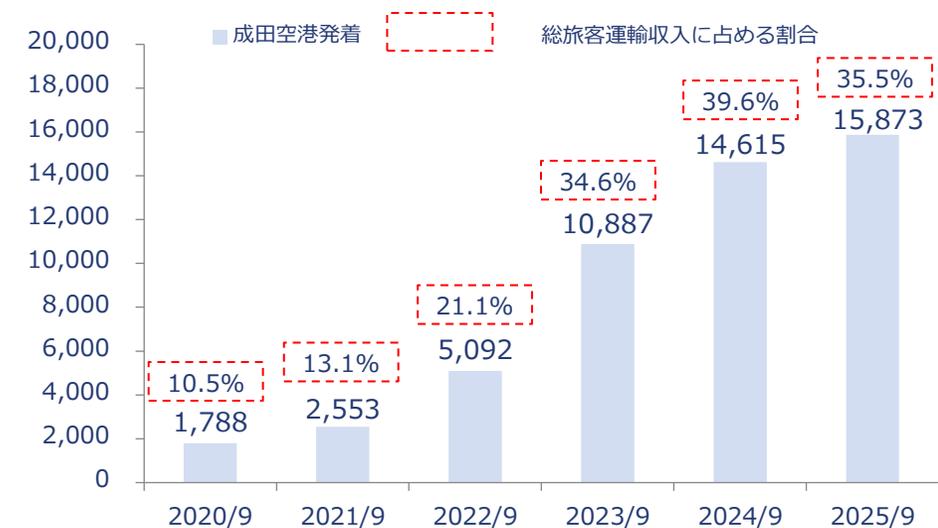
■旅客運輸収入

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率
成田空港発着	14,615	15,873	1,258	8.6
有料特急	4,481	4,856	374	8.4

単位：千人



単位：百万円



1-6. セグメント別業績 [流通業]

ストア業の新店効果及び既存店が堅調に推移し増収となったものの、原価や人件費が増加したことにより減益

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	28,654	29,670	1,016	3.5	
ストア業	20,980	22,058	1,078	5.1	新店の寄与 ※ 既存店の伸長
百貨店業	4,957	4,951	△5	△0.1	
その他	2,716	2,660	△56	△2.1	
営業利益	290	194	△96	△33.1	※主な新店 京成ストア
ストア業	325	329	3	1.2	マツモトキヨシ前原店(2024年11月) コミュニティ京成【プロント】
百貨店業	△162	△270	△107	-	海浜幕張店(2024年9月)
その他	126	134	7	6.1	

1-7. セグメント別業績 [不動産業]

新規賃貸物件の寄与、中高層分譲住宅の引き渡し等により増収増益

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	16,320	18,639	2,318	14.2	
賃貸業	13,719	14,652	932	6.8	新規賃貸物件の寄与 ※
販売業	18	1,147	1,128	-	分譲マンションの差異 ※
管理業	2,583	2,840	257	10.0	
営業利益	5,742	6,457	715	12.5	※主な新規賃貸物件・分譲マンション 賃貸物件
賃貸業	5,559	6,157	598	10.8	墨田区錦糸オフィスビル(2024年10月) 分譲マンション(2025/9)
販売業	△54	79	133	-	サングランド東松戸 20戸、プレミスト千葉公園(共同事業)
管理業	237	221	△15	△6.7	
減価償却費	2,976	3,088	112	3.8	

1-8. セグメント別業績 [レジャー・サービス業、建設業、その他の事業]

■レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	8,371	8,945	574	6.9	飲食・映画業の増収
営業利益	592	557	△35	△5.9	

■建設業

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	15,390	18,217	2,826	18.4	建築工事の増加
営業利益	907	1,027	119	13.2	

■その他の事業

単位：百万円、%	2024/9 実績	2025/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	4,856	5,121	265	5.5	
営業利益	142	285	142	99.8	

1. 2026年3月期 中間連結決算
- 2. 2026年3月期 連結業績予想**
3. D2プランの進捗状況
4. 参考資料

2. 業績予想 [前期比較概要]

中間期の業績を踏まえ検討した結果、従来予想を据え置き

単位：百万円、%	2025/3 実績	2026/3 予想	増減	率
営業収益	319,314	331,600	12,285	3.8
営業利益	36,008	31,100	△4,908	△13.6
経常利益	61,755	51,800	△9,955	△16.1
(持分法投資利益)	25,739	22,900	△2,839	△11.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	69,961	42,500	△27,461	△39.3
(関係会社株式売却益)	53,157	—	△53,157	—
減価償却費	32,600	34,500	1,899	5.8
設備投資額	65,577	93,500	27,922	42.6
有利子負債 ※	363,050	398,900	35,849	9.9
EBITDA倍率(倍) ※	5.3	6.1	0.8pt	—
自己資本利益率(ROE)	14.6	8.1	△6.5pt	—

※ 有利子負債にはリース債務を含む
EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

■ 営業収益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



■ 営業利益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



1. 2026年3月期 中間連結決算
2. 2026年3月期 連結業績予想
- 3. D2プランの進捗状況**
4. 参考資料

3-1. 長期経営計画「Dプラン」概要

経営理念

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

長期経営計画

長期経営計画

グループビジョン及びグループ長期経営課題により構成

- グループビジョン：京成グループの将来のありたい姿
- グループ長期経営課題：現状・将来分析、経営環境分析を踏まえた京成グループの長期的課題

中期経営計画
(3か年計画)

中期経営計画

- 長期経営計画に基づき事業戦略、数値目標を設定

D1プラン
(2022～2024年度)



D2プラン
(2025～2027年度)



D3プラン
(2028～2030年度)

3-2.グループビジョンとグループ長期経営課題

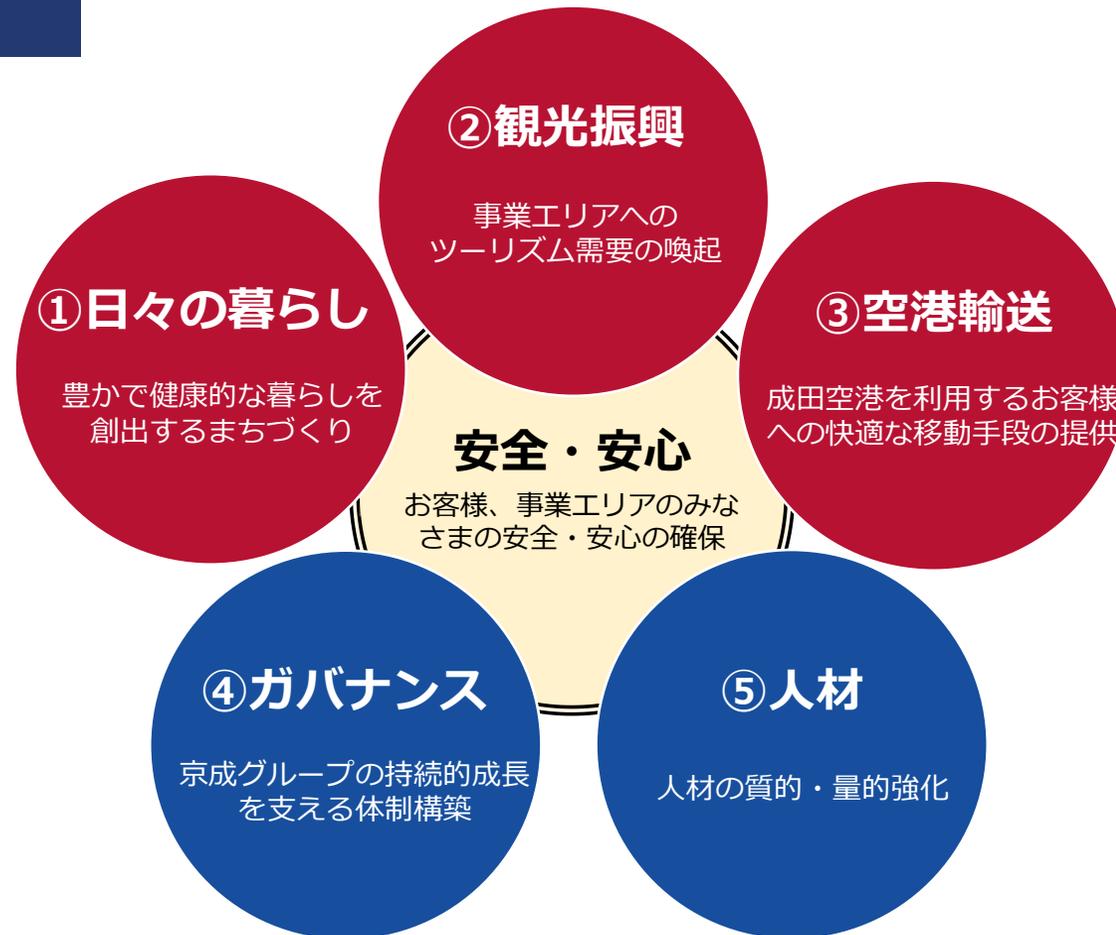
2030年のグループビジョン

京成グループの事業エリアのみなさまとの共創、及び、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献する

長期経営課題

ビジョン実現に向けた方向性

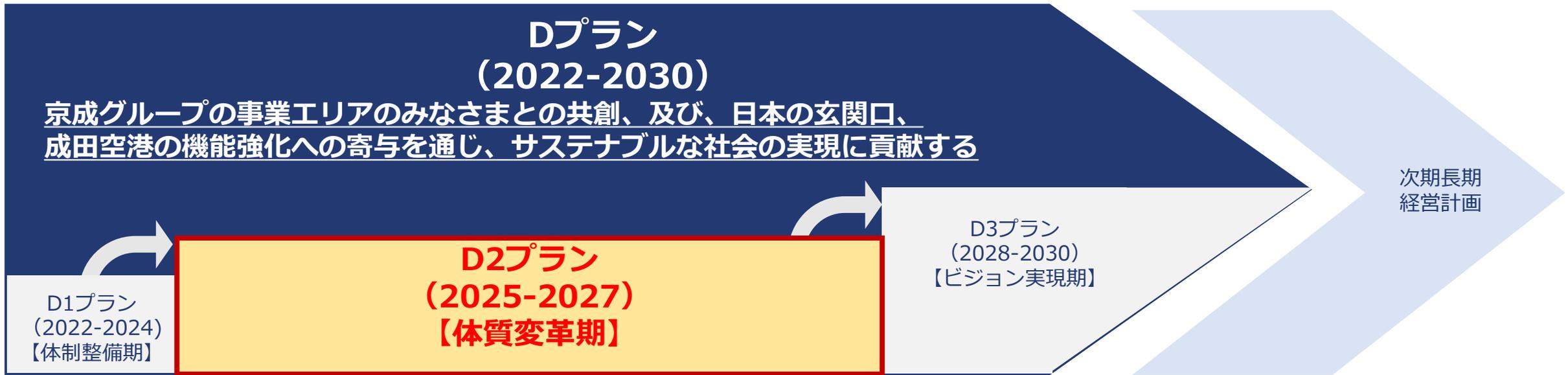
ビジョン実現のための基盤整備



3-3. 中期経営計画「D2プラン」概要

中期経営目標

新たなグループ経営推進体制のもと、長期ビジョン実現に向け、空港アクセス強化を推進するとともに、外部環境変化への耐性強化を目指す。



- I. <空港アクセス強化の推進>**
 - 2028年度末とその先に予定される成田空港の機能強化を企業価値向上の機会として活かすべく、輸送力・サービスを継続的に強化
- II. <外部環境変化への耐性強化>**
 - 外部環境変化への耐性が強い事業ポートフォリオを将来的に構築すべく、第2の柱である不動産業を中心に強化

- ～2030年代以降に見込まれる事項～
- ◎成田空港の機能強化
 - ・新旅客ターミナル順次供用
 - ・発着容量50万回年次
 - ◎安全・安心なまちづくり
 - ・葛飾区内連続立体交差事業完了
 - ・荒川橋梁架替工事完了
 - ・京成高砂駅付近連続立体交差事業

3-3. 中期経営計画「D2プラン」重点項目の進捗状況

I. <空港アクセス強化の推進>

- 「今後の成田空港施設の機能強化に関する検討会」は、2025年6月に中間とりまとめを公表
(中間とりまとめ概要より)
輸送力増強の方策として、列車の増発、長編成化、ボトルネック解消のための鉄道施設の改良などを検討するとともに、単線区間が制約となり、必要な輸送力及び利便性が確保できない場合には、当該区間の複線化についても検討を進める
- 成田空港の更なる機能強化への対応を着実に推進
 - 押上～成田空港間を運行する新型有料特急導入を推進（2028年度運行開始予定）
 - 宗吾車両基地拡充工事の推進（2029年3月完了予定）
- 12月13日のダイヤ改正にてスカイライナーを増発
- 東京都心と成田空港を結ぶ高速バス『エアポートバス東京・成田』において、ダイヤ改正を実施

II. <外部環境変化への耐性強化>

- イオン（株）との資本業務提携に係る取り組み
 - 「イオン藤沢店」の店舗建替および複合開発の検討開始
 - 「津田沼12番街ビル」改修工事を推進
- 事業エリアにおける開発及び収益物件の取得
 - 新鎌ヶ谷駅周辺の賑わい創出・回遊性向上に向けて、新鎌ヶ谷駅周辺の複合開発の推進
 - 大規模賃貸マンション「スカイグランデ津田沼」の建築工事を推進
 - 都内エリアの賃貸住宅11物件を取得

3-4. 日々の暮らし

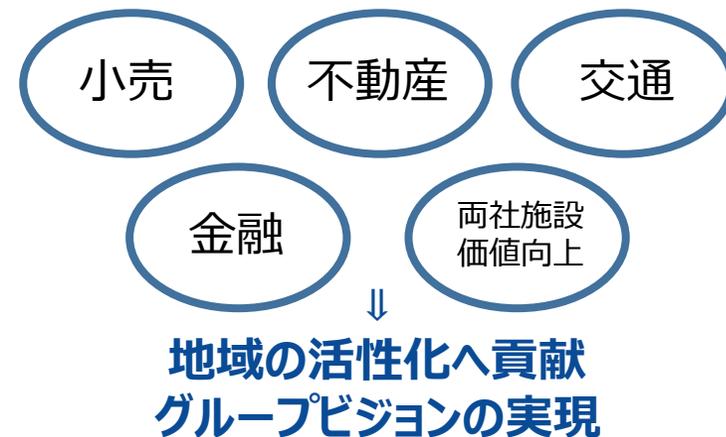


イオン（株）との連携について



■ 目的・概要

地域に合わせた街づくりを通じて、地域の活性化に貢献していくため、イオン(株)と資本業務提携を締結（2024年10月）



■ 取り組み

- 「イオン藤沢店」の店舗建替および複合開発に関する検討の開始
- 新津田沼駅周辺の再整備による新たなランドマーク化を計画
 - 駅隣接の「津田沼12番街ビル」改修工事を推進
- 京成グループで「AEON Pay（イオンペイ）」を導入
 - 京成グループのタクシー車両約950両と筑波観光鉄道(株)が運営する売店等で導入
- 駅ナカ・イオン施設内の有効活用
 - イオンの国内・国外の一部店舗のデジタルサイネージにて当社「京成スカイライナー」のCMを放映
 - 当社の一部駅やイオンの一部店舗にてPRイベントや販促イベント等を実施



津田沼
12番街ビル



イオンペイ導入車両

3-4. 日々の暮らし



京浜急行電鉄（株）との共同検討の開始について



目的・概要

持続可能な沿線の実現や観光先進国等の実現に向けた空港アクセスの更なる充実等を目的として、共同検討に関する合意書を締結（2025年10月）



共同検討項目

- 鉄道の運行に関する検討
 - 技術開発の進展などを踏まえた次世代運行システムの導入に向けて、地上設備や車両の共通化等について、研究・検討
 - 京急電鉄が新たな輸送サービスの検討に着手し、これにあたり京成電鉄が2028年度より運行を計画している新型有料特急車両との共通化の検討
- 両社沿線の観光拠点等への相互送客施策
 - 両社沿線の観光拠点等への相互送客施策の推進に向け、イベントの実施や、企画乗車券の発売等を検討
 - 第1弾として、両社沿線の神社仏閣をめぐるスタンプラリーを開催予定
- 株主優待の拡充に向けた相互協力
 - 【拡充内容】
 - 両社の株主優待乗車証（きっぷ）とそれぞれの企画乗車券の交換制度の開始
 - 京急ストア、リブレ京成で使える「お買い物優待券」の相互利用開始



3-4. 日々の暮らし



〔重点施策2〕エコロジカルなまちづくりの推進

■ カーボンニュートラルに向けた取り組み

● 各交通サービスの車両における環境性能の向上

- 『人や環境にやさしいフレキシブルな車両』をコンセプトとする新形式車両「3200形」追加導入を計画
【D2期間（計画）】導入車両数：88両、投資額：約232億円
- 京成グループ各社において、環境にやさしい「EVバス」・「EVタクシー」
・水素で走る「燃料電池タクシー」を導入
【D2期間（計画）】車両導入数：約180台、投資額：約80億円



● サステナビリティに配慮した施設・商品・サービスの企画

- ホテル滞在で生じるCO2排出相当量をカーボン・オフセットできる環境配慮型宿泊プランを販売
- サステナビリティ企画に協力し、「みどり台駅」駅名看板を「みどりの日」仕様にデザイン
- 京成グループ各社において、座席シートやタイヤ、制服、廃食用油等のリサイクルを推進

【京成グループCO2排出量削減目標】

- 2030年度までに2013年度比46%削減
2050年度までに実質「ゼロ」

【京成グループCO2排出量実績 (t-CO2)】



座席シートを活用したクッションを販売



バスの使用済みタイヤをグループ施設の舗装材として活用



「みどり台駅」駅名看板 特別デザイン

3-5. 観光振興

〔重点施策1〕 既存観光エリアの魅力向上

〔重点施策2〕 新たな観光資源やルートの開発

■ 事業エリアへのお客様の誘致

● 自治体や企業等との連携による観光振興

- 企画乗車券の販売等により、近隣エリアへの回遊を促進
- グループ各社において地域の特性を活かしたイベントを開催



各種企画乗車券の販売



京成バラ園芸、筑波観光鉄道等における季節に応じたイベントの開催



● 国内外へのプロモーション

- 国内外OTA向け「東京BRT 1日乗車券」デジタルチケットを販売
- 沿線外のプロ野球試合への協賛、海外旅行博への出展(韓国、香港、台北) 等を通じ認知度を向上



東京BRT



沿線外のプロ野球試合に協賛



海外旅行博

■ 長期経営課題「空港輸送」を通じた観光立国への貢献

〈外部環境〉

訪日外国人数が過去最速で累計3000万人を突破し、全ての月で過去最高を記録 (2025年1月~9月)

● 京成スカイライナーご利用者数6000万人到達

(2025年7月)

- 記念式典の開催、記念ライナーの運行等



【成田空港発着の輸送人員の推移 (当社単体)】



3-7.ガバナンス

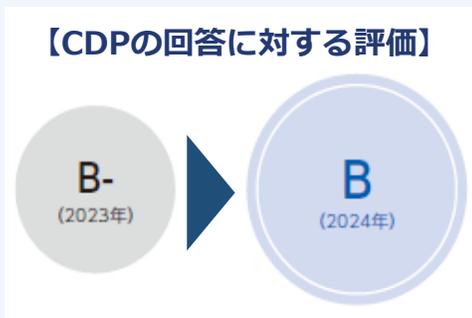
〔重点施策1〕環境・社会に関する情報開示の充実

〔重点施策2〕健全な財務体質の維持

〔重点施策3〕コーポレート・ガバナンスの強化

■ 環境・社会に関する情報開示の充実

- CDPへの回答による情報開示
 - 気候変動に関する当社の問題認識・取り組み等の情報を開示
 - 2024年度の評価は「B」スコア（2023年度：B-）



- 統合報告書における開示内容の拡充
 - 非財務情報である教育訓練費等の開示を実施



統合報告書2025
 〈参考〉
 右のQRコードより
 ご覧いただけます



その他、継続して情報開示を実施

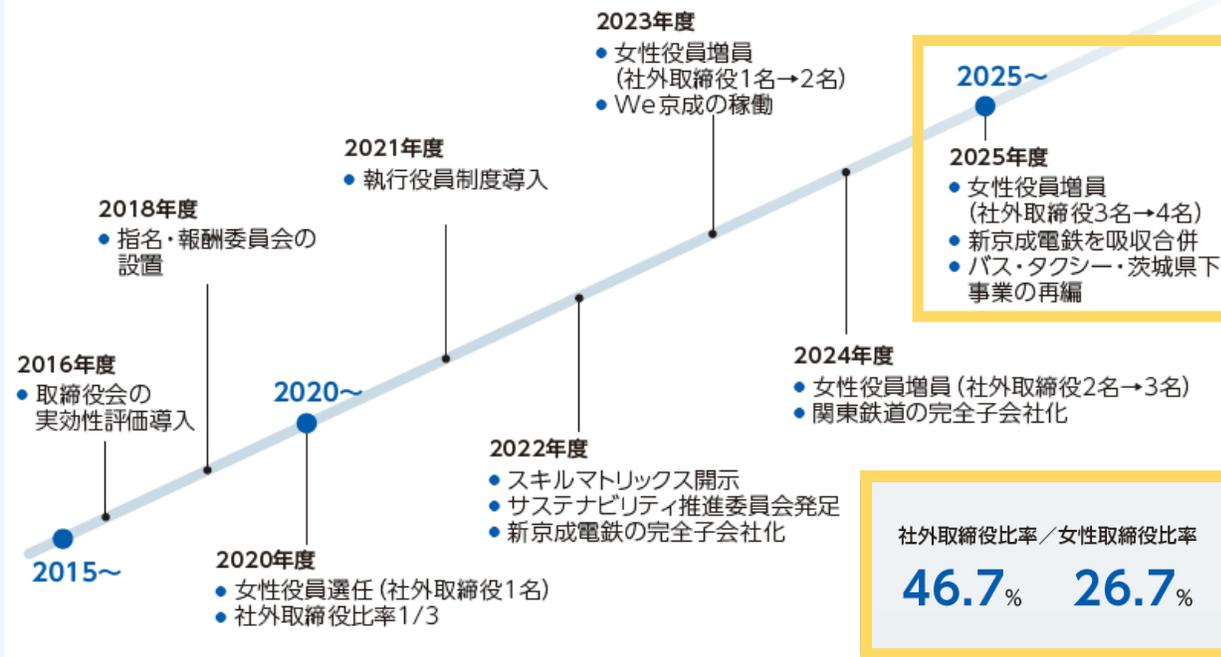
- 安全報告書
- 京成グループ要覧
- サステナブルファイナンスレポート
- HPにおける掲載内容の拡充



■ コーポレート・ガバナンスの強化

- 意思決定の迅速化や監査の強化等に向けて、体制の整備を継続的に推進
 - 事業再編によるグループ経営推進体制の整備、社外取締役の増員 等

【コーポレート・ガバナンス強化に向けた近年の取り組み】



〔重点施策1〕ダイバーシティの推進

〔重点施策2〕チャレンジする人材の育成

■ 人への投資

〈外部環境〉 直面する課題

- ・ 少子高齢化・人口減少が深刻化する中、運輸業では今後も就業者の高齢化・若年者の入職の減少が見込まれ、中長期的な担い手の確保・育成が喫緊の課題となっている。
- ・ バスの運転手数は、2030年に必要人員全体の28%不足する見込み。

出展：国土交通省「令和7年版国土交通白書」

⇒ 京成グループでは、事業を支える人材の確保・時代の変化に対応する人材の育成を推進

● 人材の質的・量的確保に向けた採用人数の増加

- 新たなグループ経営推進体制による採用力の強化（中間持株会社における採用の一元化等）
- グループ就職合同説明会の継続開催
- 女性や外国人の採用強化等

● 働きやすい環境の整備

- 健康経営の推進
- 処遇改善、新規福利厚生制度の導入等

● キャリアステップの支援

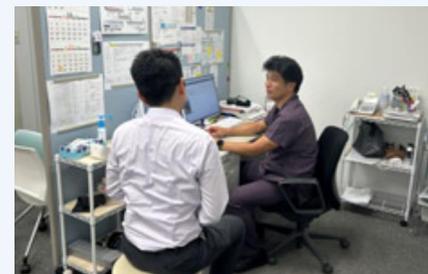
- グループ外企業／団体との人事交流の促進による新たな考え方・文化の取得
- 京成グループ従業員を対象とした研修プログラムの拡充等



グループ就職合同説明会の様子



女子学生向けオフィスツアーを実施



産業医・保健師による健康相談窓口を設置

【採用10年後の継続雇用割合】

男性 81.7%
女性 58.6%
(2021年度)

男性 91.0%
女性 71.4%
(2024年度)

3-9.安全・安心



〔重点施策1〕 災害対策の強化

〔重点施策2〕 お客様の安全を守る取り組みの強化

〔重点施策3〕 テクノロジーの活用

■ 2025年度鉄道事業設備投資計画

■ お客様の安全を守る取り組みの強化

371億円（昨年度実績比※ +138億円）

※松戸線の実績は除く

● 国や自治体と連携した大規模工事の推進

- 押上線葛飾区内連続立体交差事業の推進

● 駅の安全の強化

- 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備を推進(青砥駅、京成高砂駅、鬼越駅等のホームドア整備等)
- 駅ホームの改修(みのり台駅、宗吾参道駅、新津田沼駅)
- 駅施設リニューアル工事(京成中山駅・新千葉駅・松戸駅等)

● 車両の安全の強化

- 通勤型車両への防犯カメラ設置を推進(今年度完了予定)



京成中山駅の
駅舎建替工事が
完了(2025年9月)



新千葉駅の
新駅舎改札口の
供用を開始
(2025年9月)



松戸駅
リニューアル
イメージ

■ 災害対策の強化

● 法面補強工事の推進

- 京成成田駅～空港第2ビル駅間等



● 耐震補強工事の推進

- 京成佐倉駅、みどり台駅、
千葉寺駅～ちはら台駅間等



● 荒川橋梁架替工事の推進

- 新設橋梁の工事等を推進



● 災害に備えるため、各種訓練を実施

- スカイライナー異常時合同訓練
- 荒川橋梁での水防訓練 等

■ テクノロジーの活用

● AIの活用

- AIを活用したお忘れ物検索サービス「落とし物クラウド find」を導入

● ドローンの活用

- 宗吾車両基地拡充工事において、ドローンを使用した定点観測を実施



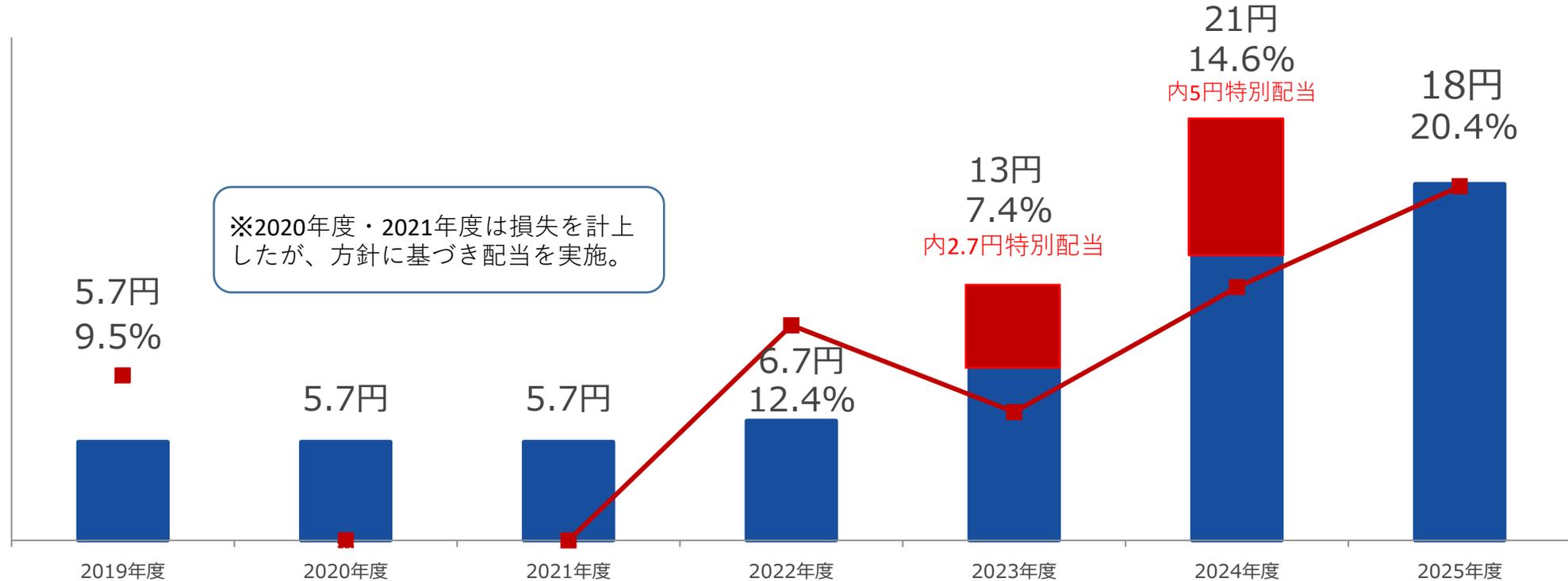
3-10.株主還元について

■ D2プラン期間中における株主還元の考え方

- ・ 持続的な価値提供のため、業績及び成田空港の機能強化に伴う中長期的な投資計画等を勘案しながら、株主の皆様へ**安定的な利益還元**を行う
- ・ **2027年度：連結配当性向30%以上**を目安とするとともに、財務状況や事業環境に応じ、自己株式取得等の追加還元を機動的に実施する

■ 業績等を踏まえ、2025年度の1株当たり年間配当金は第2四半期末9円、期末9円の合計18円を予定

連結配当性向および1株当たり配当金（年間）の推移

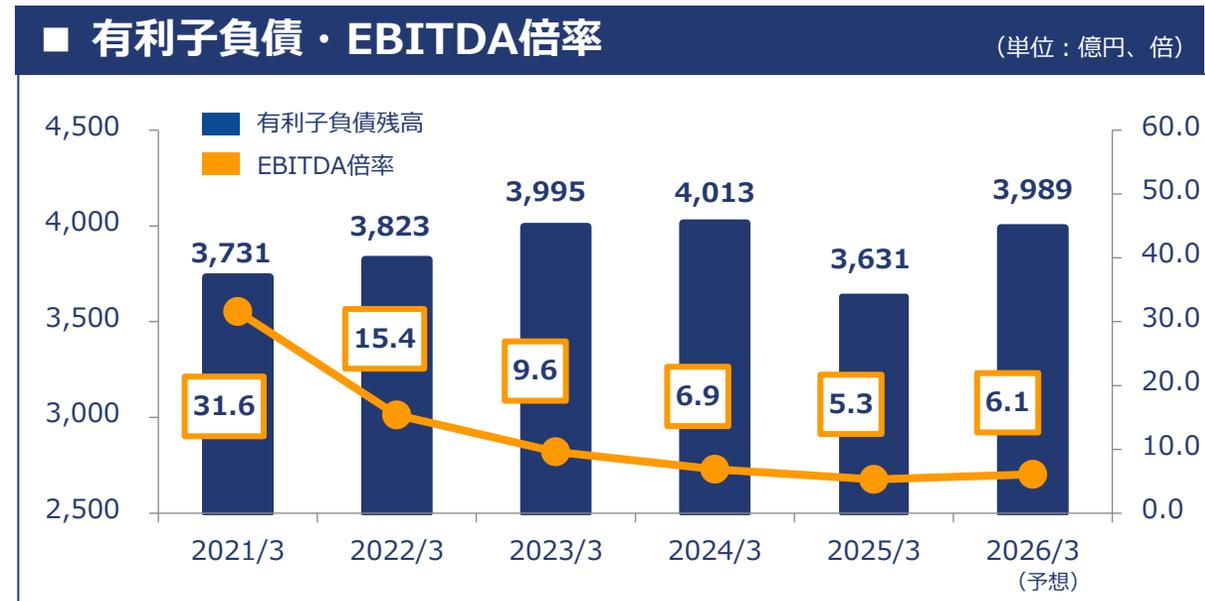
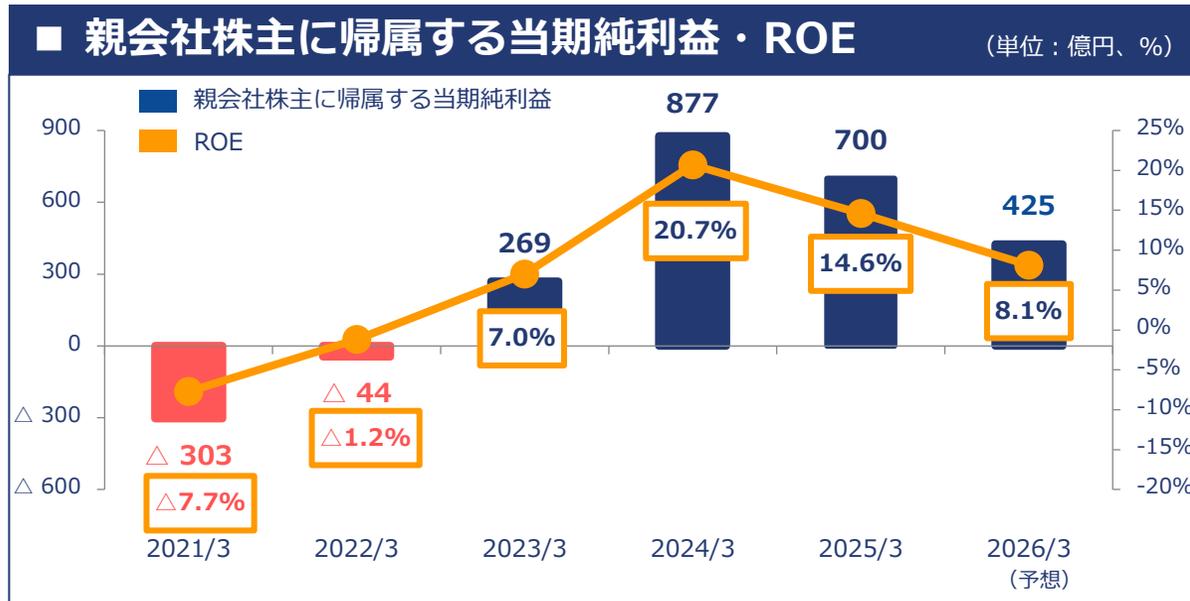
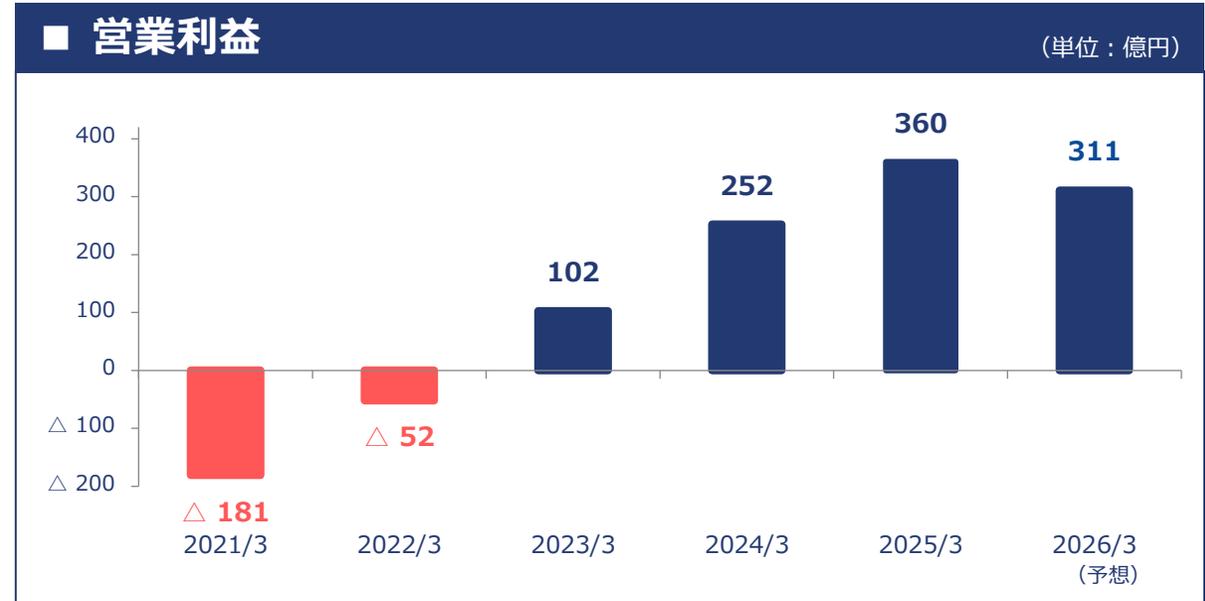
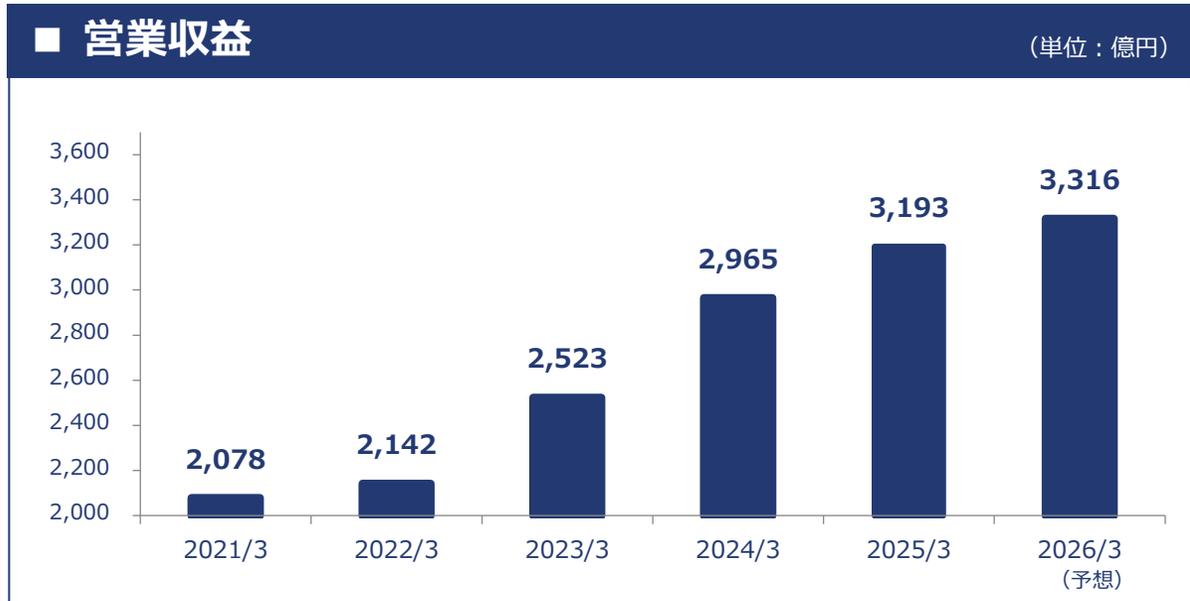


※2020年度・2021年度は損失を計上したが、方針に基づき配当を実施。

※表中の配当金額は分割後の金額

1. 2026年3月期 中間連結決算
2. 2026年3月期 連結業績予想
3. D2プランの進捗状況
4. **参考資料**

4-1.財務ハイライト



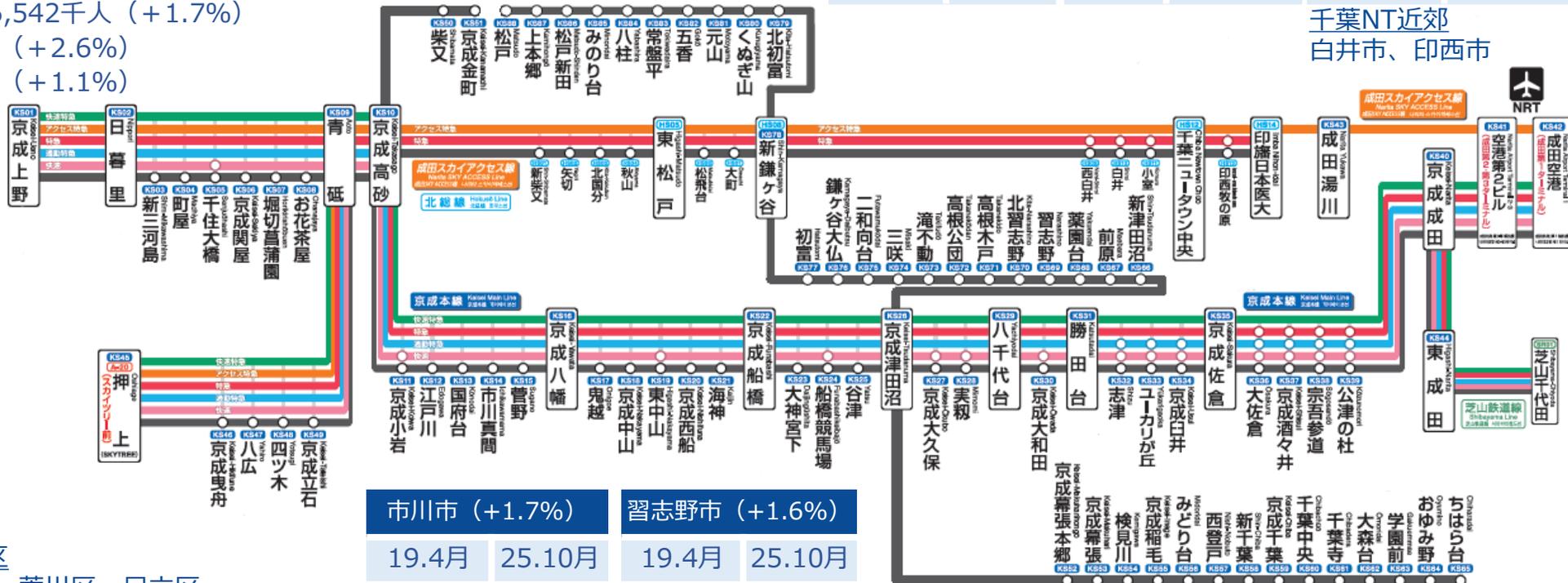
4-2.沿線人口の推移

2025年10月、2019年4月（前中期経営計画「E4プラン」初年度）比

単位：千人

エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総)
 駅数 101駅
 自治体数 都内6区、県内13市 2町
 沿線人口 6,542千人 (+1.7%)
 都内 2,604千人 (+2.6%)
 県内 3,938千人 (+1.1%)

松戸市 (+2.0%)		鎌ヶ谷市 (+0.6%)		千葉NT近郊 (+5.5%)		成田市近郊 (+0.4%)	
19.4月	25.10月	19.4月	25.10月	19.4月	25.10月	19.4月	25.10月
491	501	109	110	161	170	210	211



千葉NT近郊
白井市、印西市

成田市近郊
成田市、富里市、
酒々井町、芝山町

都内6区
台東区、荒川区、足立区
葛飾区、江戸川区、墨田区

都内6区 (+2.6%)	
19.4月	25.10月
2,539	2,604

市川市 (+1.7%)		習志野市 (+1.6%)	
19.4月	25.10月	19.4月	25.10月
494	503	173	176

船橋市 (+2.3%)		八千代市 (+3.4%)	
19.4月	25.10月	19.4月	25.10月
637	651	197	204

佐倉市 (△4.4%)		千葉市 (+0.9%)		市原市 (△3.6%)	
19.4月	25.10月	19.4月	25.10月	19.4月	25.10月
171	164	978	987	271	261

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/>